

# ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No. 205

2008年

11 ~ 12月号

## 行 事 案 内

### 11月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 11月16日(日) 雨天中止  
今月は第3日曜日に開催されます。  
お間違えのない様にご注意ください!  
集 合 我孫子市役所 午前9時  
案 内 手賀沼にカモ達が出揃う頃です。そ  
して、葦原には冬の小鳥達も期待さ  
れます。じっくり観察しましょう。  
解 散 正午  
担 当 佐々木、小林(寿)、野口(紀)、北  
原、松田、桑森

### 12月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 12月14日(日) 雨天中止  
集 合 我孫子市役所 午前9時  
案 内 今年も手賀沼にたくさんのカモが  
やってくる季節になりました。マガ  
モ、オナガガモ、ミコアイサ、ハシ  
ビロガモ、・・・でも、冬に北か  
ら渡ってくる鳥はカモの仲間ばか  
りではありません。ちょっと気をつ  
けて見てみると、様々な冬鳥が渡  
って来ています。探鳥には楽しい季節  
到来です。今年最後の定例探鳥会  
です。寒さ対策万全でご参加ください。  
解 散 正午  
担 当 小林(寿)、佐々木、野口(紀)、北

原、松田、桑森

### 福 島 潟 探 鳥 会

期 日 11月30日(日) -日帰り-  
集 合 我孫子駅改札口 午前6時  
交 通 我孫子駅 6時12分発快速、上野発  
7時6分「Max とき 303号」。新潟か  
ら白新線で20分豊栄(とよさか)  
へ。タクシーで7分、福島潟へ  
参加費 約23,000~25,000円  
案 内 日本最大のオオヒシクイの渡来地  
とされる新潟県豊栄市(新潟市から  
約15km)にある福島潟で、ガン、  
カモ、ハクチョウなど湿地帯の水鳥  
や水辺・葦原の鳥達を中心に楽しみ  
ます。昨年11月末には、オオヒシ  
クイ4,200羽、マガン510羽、コハ  
クチョウ4,800羽、オオハクチョウ  
20羽、それにオジロワシ、タゲリ  
(多数)など。また今年2月には、  
シジウカラガン24羽、ハクガン  
12羽なども観察されています。  
持 物 観察用具、雨具、弁当(現地にて昼  
食予定、途中弁当購入も可)  
申 込 田中功まで  
Tel: 04-7182-4860  
担 当 田中、間野  
詳細案内、切符購入などについては  
申し込みいただいた方に、別途後日、  
連絡いたします。

---

---

## 涸沼探鳥会

---

---

期 日 12月30日(火) 雨天中止  
集 合 我孫子駅北口 午前8時  
持 参 観察用具、雨具、弁当、飲物(途中購入可)  
案 内 何かと忙しい中での、本年最後の探鳥会です。今年も沢山の種類の水鳥が観察できると思います。年の瀬を涸沼周辺でのんびりと探鳥するのも一興です。又、お土産に地元名産のしじみも如何ですか。  
交 通 自家用車分乗です。一人2,000円を運転者にお渡しください。申込の際車提供可能な方はその旨ご連絡ください  
申 込 北原建郎まで  
Tel: 04 - 7183 - 4683  
担 当 北原、田丸

---

---

## 波崎・北浦探鳥会

---

---

期 日 1月3日(土) 雨天中止  
集 合 我孫子駅北口 午後8時  
案 内 毎年恒例の新年探鳥会です。小見川の葭原ではワシタカ、神之池・波崎漁港周辺ではカモメ・カモ類、北浦ではハクチョウなど、変化に富んだ探鳥会です。鳥の種類も毎年50種以上、特に昨年は63種が観察されています。ミヤコドリやシノリガモなど多くの鳥たちと出会い、2009年の探鳥をスタートしましょう。なお、現地の状況により立ち寄り場所を変更することもあります。  
交 通 自家用車分乗です。便乗者は一人1,500円を運転者にお渡しください。申し込みの際、自家用車を提供可能な方はその旨ご連絡ください。  
持 物 観察用具、雨具、防寒具、昼食(途中購入可)  
申 込 桑森亮まで  
Tel/Fax: 04 - 7182 - 3149  
担 当 桑森、六角

---

---

## ジャパンバードフェスティバル (JBF)

---

---

期 日 11月8日(土) 9日(日)  
会 場 千葉県立親水広場(水の館)、手賀沼公園、我孫子市鳥の博物館、その他  
案 内 メイン会場は親水広場と手賀沼公園です。学生、NPO団体、光学器械関係は手賀沼公園会場の予定です。したがって当会のブースも手賀沼公園会場です。展示内容については以下になります。他のイベントについては、広報あびこの10月16日号もしくは11月1日号をご覧ください。皆様のご協力をお願いします。

### 当会の参加内容

#### 手賀沼公園会場

ブース出展: パネル展示、紙芝居、庭に鳥を呼ぶ

#### 親水広場会場

噴水前定点バードウォッチング(プロミナーが多数必要です。ご協力をお願いします)。船上バードウォッチング

なお、当会のブースの準備・設営を11月7日(金)午後1時から行います。会員の皆様のご協力をお願いします。お手伝いできる方は手賀沼公園会場にお集まりください。

---

---

### 11月幹事会開催案内

---

---

日時 11月16日(日) 13:30~16:30  
場所 アビスタ 第4学習室(2F)  
議題

芋煮会実施体制、作業分担など

報告事項(JBFなど)

その他 その他議題あれば事務局へ

---

---

## 芋煮会

---

---

楽しい芋煮会で今年の行事の締めくくりとします。五本松公園キャンプ場へお集まりください。全員で担当しますので多数の参加

を御願致します。

ご家族の方の参加も大歓迎です。(五本松公園は駐車場も整備され、きれいになりました。)

期 日 12月21日(日) 雨天中止  
集 合 全員 現地 午前10時  
会 場 五本松公園キャンプ場  
費 用 大人1,000円、中学生以下800円

持 参 汁椀、箸、おにぎりなど  
酒類持込可、未利用ぶんは持ち帰り  
担 当 全幹事  
申 込 北原まで 申込み期限 12月15日  
Tel: 04-7183-4683

## 行事報告

### 8月手賀沼探鳥会とカウント

調査日時 2008年8月10日 9:00~12:00  
曇 風弱 気温27

<認めた鳥> カイツブリ、カワウ、ヨシゴイ、ゴイサギ、アマサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、カルガモ、コチドリ、ムナグロ、アオアシシギ、アジサシ、キジバト、カワセミ、ヒバリ、ツバメ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、オオヨシキリ、セッカ、シジュウカラ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計29種

<探鳥班> 柳川幸治、山口キイ、榎本右、諏訪哲夫、吉田隆行、池田日出男、浅井久、栗田励、田中悟、松本葉子、松本勝英、川村美恵子、大久保陸夫、間野吉幸、西巻実、六角昭男、西嶋昭生、中野久夫、宮下三禮、片桐邦夫、石渡成紀、桑森亮、類地佑子、西城猛、(担当)北原建郎 参加者25名

<カウント班> 木村稔、田中功、染谷迪夫

調査種	上沼	下沼	合計
カイツブリ	10	5	15
カワウ	21	45	66
ゴイサギ	2	6	8
アマサギ	0	56	56
ダイサギ	1	2	3
チュウサギ	1	10	11

コサギ	2	5	7
アオサギ	0	1	1
コブハクチョウ	8	9	17
カルガモ	11	2	13
オオバン	4	0	4
アジサシ	0	1	1
合計	60	142	202

<ビオトープ班> 猪爪敏夫、鈴木静治、谷山晴男、川田光男

全般：子育ての為か水鳥・オオヨシキリは葦・蒲の繁みより出てこない。上空飛ぶ鳥多し。

水田：水田に稲穂が出、若草色に見える。その上をツバメが、時々セッカが飛ぶ。

ビオトープ：道路脇、観察ゾーン・手作りゾーンの雑草が刈られている。

通行人：連日の酷暑が和らいだせいか、散歩・自転車の人多し。

### 9月手賀沼探鳥会とカウント

調査日時 2008年9月14日 9:00~12:00  
晴れ 無風 気温28

<認めた鳥> カイツブリ、カワウ、ヨシゴイ、ゴイサギ、アマサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、カルガモ、ミサゴ、トビ、オオタカ、バン、コチド

リ、イソシギ、セイタカシギ、キジバト、カワセミ、コゲラ、ツバメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、エナガ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計 33 種

<探鳥班> 栗田励、浅井久、大久保陸夫、染谷迪夫、谷山晴男、川田光男、田丸喜昭、間野吉幸、北原建郎、中野久夫、田中悟、下村蓉子、六角昭男、松田幸保、猪爪敏夫、榎本右、片桐邦夫、川村美恵子、松本葉子、松本勝英、松下勝子、常盤孝義、宮下三禮、諏訪哲夫、木村稔、石渡成紀、小玉文夫、鈴木静治、岩田孝之(担当) 桑森亮 参加者 30 名

<カウント班> 木村稔、北原建郎、染谷迪夫

調査種	上沼	下沼	合計
カイツブリ	6	2	8
カワ	22	58	80
ゴイサギ	5	1	6
アマサギ	0	1	1
タヒサギ	14	1	15
チュウサギ	0	23	23
コサギ	16	13	29
アオサギ	10	4	14
コバハチヨウ	3	8	11
カガモ	24	28	52
オハソ	0	2	2
コドリ	5	0	5
ハマサギ	3	0	3
イソサギ	1	0	1
セイカサギ	0	7	7
合計	109	148	257

<ピオトープ班> 猪爪敏夫、川田光男、谷山晴男、鈴木静治

全般：葦・葛・セイタカアワダチソウが繁茂し、池・手賀沼側の水鳥の観察が難しい。水田：1 区画を残し、他は全て稲刈りを終えていた。

ピオトープ：観察ゾーンの池の 1/4 は蒲が繁茂、手作りゾーンの水田は稲刈り終え稲束を干し。

通行人：ウォーキング・自転車・ランニングの人数。クラブ活動の学生 7 人がランニング。

## 白樺峠タカの渡り探鳥会

9月22日、23日

### タカ柱とカワガラスのお告げ

谷山 晴男

昨年は迫力があるタカ柱までは観れなかったもので、運さえよければ今年は 拝めるかもしれないと、9 月 22 日 23 日の白樺峠のタカの渡り探鳥会に参加しました。

初日の 22 日、タカ見の広場に行きましたが、対面の稜線は一面の霧の中。しばらく経って霧が晴れ、目印の、台形、一のピーク、二のピーク、鉄塔、サンマの骨などが見えるようにはなりましたが、肝心のタカが一向に現れませんでした。人間技とは思えない視力の人が見つけたのでしょうか。遙か遠くの樹の梢にとまっている白いゴマ粒のように見える 1 羽のタカを観ただけでした。

奈川温泉、野麦荘名物の鯉や茸の料理での夕食や、ご好意による差し入れの焼酎や銘酒を楽しみながらの懇親会での話題は、当然のことながら、翌日のタカ見でした。同宿の柴本さんご夫妻を交えて、タカ柱の定義を含めたエンドレスのタカ談義になりました。前日(21 日) が雨でタカの渡りがなかったため、タカ達もきっと明日こそ渡りをと待機しているだろう。明日は大いに期待しよう、ということになりました。

翌朝、早朝の探鳥ではカワガラス、キセキレイ、モズなどを観ました。

朝食の後、いよいよタカ見に出発しようとしたとき、1 羽のカワガラスが野麦荘の前の川を横切り、駐車場に停まっている我々が乗って行く今井観光の虹のバスのルーフにとまりました。(これは中野さんがバッチリとデジカメで記録されてます) J リーグのシンボルである 3 本脚のカラスで象徴されているように、カラスはよいことをお告げる、という定説です。三本脚ではないけれども、今日は良いことがある・・・きっとタカ柱が拝める、と私は期待しました。

当日タカ見の広場に集まったバーダーの人数は 400 人ぐらいだったそうです。8 時 40 分頃我々が到着したときには既に大勢の人

が超望遠レンズ付きのカメラの砲列を対面の稜線に向けてタカの出現を待っていました。

昨年は殆どのタカが、大凡 11 時の方向（松本方面）から現れて、稜線間の谷筋を徐々に高度を上げ、我々に横顔を見せながら、大凡 5 時の方向に飛んで行きました。大部分がサシバで、ときとしてハチクマがいました。一度、遠方で 10 数羽のサシバが、上昇気流を捉え、舞うように廻りながら高度を上げて行く小規模のタカ柱を観ました。

去年とは違い、今回は殆どのタカが大凡 10 時（上高地？）の方向から現れ、高度を上げながら我々の頭上近くに来た後、大凡 7 時の方向（乗鞍岳方面）に飛び去って行きました。サシバが少なく、ハチクマが大部分でした。しかも 10 時頃までは、なかなか観ることができないハチクマが、ゆったりと羽を広げて、個性豊かな白や茶の見事な羽模様を存分に披露してくれました。

その後は状況が変り、タカが頭上遥か高くに現れるようになりました。多分同じ 10 時方向から来ているのですが、我々のいる辺りに来る前に相当高くまで高度を上げているので、頭上に近づいたときやっと見付けられるようになったのでしょうか。しかも時には頭上で上昇気流を捉え、廻りながらぐんぐんと高度を上げた後、7 時方向に飛び去って行きました。うまく言えませんが、頭上で、白い蝶のような大きさに小さく見えるタカが廻りながら白いゴマのようになるまで高く昇って行きました。一番数の多かった群れは 7 羽でした。タカ見の広場は標高 1,600m ですので、極めて無責任に推測すれば、タカ達は 1,800m ぐらいの高度から 3,026m の乗鞍岳を越えるぐらいまで上昇したかもしれません。我々はこうしたタカ柱を真下から見上げたことになりませう。

午後になるとタカの出現する頻度が大分少なくなりました。そうしたとき、わがグループの面々は、タカが現れる合間を大いに利用して、マツムシソウ、ツルリンドウ、ヤマオダマキなどの野草の花や、ヤナギランの白い毛、辺りを飛び回るクジャクチョウ、ヒョウモンチョウなどを撮影していました。

13 時 30 分頃、未練を残しながら広場から

離れました。豪華なタカ柱こそ観れなかったものの、皆それなりに満足したので、帰途のバスの中の雰囲気は大変な盛り上がりでした。こうして、ほろ酔い気分で八ヶ岳、甲斐駒、富士山を眺め、談合坂近辺の渋滞をなんとか抜け、21 時過ぎ我孫子に戻りました。

私は、密かに期待したとはいうものの、カワガラスのお告げに、豪華なタカ柱までを期待するなど欲張らなくてよかったと思つてます。ハチクマの羽模様を絶好の角度から観ることができましたし、ささやかなタカ柱でしたが運よく真下から見上げることができました。そしてなにより、楽しいタカ見の旅行を満喫することができました。

幹事の桑森さん、鈴木さん、そして同行の皆さん方、本当に有り難うございました。実に楽しく有意義な 2 日間でした。

#### 【幹事報告】

< 認めた鳥 > アオサギ、カルガモ、コガモ、ハチクマ、トビ、オオタカ、ツミ、ハイタカ、サシバ、クマタカ SP、イヌワシ、チョウゲンボウ、キジバト、アオバト、ハリオアマツバメ、コゲラ、イワツバメ、キセキレイ、ハクセキレイ、サンショウクイ、ヒヨドリ、モズ、カワガラス、コガラ、ヒガラ、ヤマガラ、シジュウカラ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、カケス、ホシガラス、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計 34 種 番外ドバト

< 参加者 > 吉田隆行、古賀嗣郎、古賀道子、中野久夫、松本勝英、松田幸保、諏訪哲夫、石渡成紀、谷山晴男、西巻実、安野昌彦、宮下三禮（担当幹事）鈴木静治、桑森亮  
参加者 14 名

---

---

### ホタルの夕べ

8 月 3 日

---

---

日 時 平成 20 年 8 月 3 日（日）  
曇 気温 27 高湿度  
集 合 東我孫子駅前午後 7 時（観察期間午後 7 時～8 時）  
場 所 我孫子市岡発戸・都部谷津ミュージ

アム

参加者 ( 守る会と友の会合同 )

岡廣志、浅妻正、朝妻佐喜恵、野島、中村、荻野、佐藤弘美、高野雅子、小川裕加、清水多恵子、川村勝江、藪内尚子、池田富美子、越前登美、大森ひろみ、間野吉幸、川村美智子、川村美恵子、松田幸保、松本勝英、松本葉子、小林政則、小林文夫、小林文佳、小林優奈、小林美蘭、渡辺靖、渡辺絵美子、渡辺莉緒、本江貴美子、海老原廣實、金子幸子、川越久枝、脇谷房子、藤田慎介、藤田春美、藤田智代、金子實、後藤昭子、桑原伶奈、桑原宏佳、染谷迪夫、小玉文夫、首藤佑吉、田中功、池田日出男、井上正、井上智、百合岡麻衣子、百合岡萌子 担当 木村稔・染谷迪夫 参加者 50名

報 告

本日認められたヘイケホタルの数100頭超。当日は蒸し暑い夜だったので、ホタルがよく出てくれるのではないかと期待したが結果は上記の通りだった。

数年前から、我孫子市手賀沼課、谷津ミュージアムの会、谷津学校友の会の方々が谷津ミュージアムの整備・保全を手がけ、特にホタル・アカガエルの里附近を中心に整備、保全をしていることがよい影響を与

えていると考えられ、去年今年と3桁のホタルが観察された。夏の夜、幻想的なホタルの青い光を見ることは、郷愁を誘い、楽しいひと時を過ごさせてくれる。今後更に増えることを期待したい。

葛西臨海公園探鳥会

8月31日

8月31日(日)実施予定の「葛西臨海公園の探鳥会」は前日の晩の天気予報・・・時々雨が降るとの予想で中止と決定しました。折りしも前夜の我孫子地区は大変な集中豪雨となり、翌31日の雨が同じ様にゲリラ的雷雨の場合、迷惑がかかると判断して中止とさせて頂きました。

しかし皮肉なもので当日は晴れとなっていました。(幹事の日頃の行いが悪かったのでしょうか?)

参加予定の13名の皆様には中止のお電話を夜分お掛けして失礼を致しました。

「葛西臨海公園」は水辺の鳥と山野の鳥を合わせて観察でき、しかも野鳥観察のハズレが少ないということで評判の場所です。

次回計画の節には、是非ともご参加下さい!

担当幹事：諏訪、野口

鳥 だ よ り

- 07.22 [つくし野] 朴ヶ 入(1) 鳴きながら 中野久夫  
飛翔
- 07.29 [北新田] コガモ(1)イクリ 入 2号排水 中野久夫  
路で
- 07.29 [北新田] ヌナギ (4) 越流堤池で 中野久夫

- 08.01 [曙橋] コトリ(20) 採餌 中西榮子
- 08.01 [曙橋] イソシ (1) 休息 中西榮子
- 08.03 [北新田] コシヤク(1) 2号排水路沿 中野久夫  
いの草地で囀り
- 08.08 [発作] フウキ (100) 利根川方面よ 鈴木静治  
り布瀬方面に飛来。
- 08.10 [曙橋の水田] アカエリヒレアシキ (1)

15:51~ 16:20 すぎ、水田の水面を泳ぎ、  
餌を物色 飯泉仁・久美子

08.10 [手賀沼] ヲウヅク(11) 上沼1、下沼  
10 染谷迪夫・木村稔・田中功

08.15 [千間橋] イヅギ(2) 川の水面上を  
飛ぶ 鈴木静治

08.17 [相島] ヲウヅク(1) 低地集水路  
付近より飛び立つ 鈴木静治

08.21 [曙橋] セイカヅク(7) 大久保陸夫

08.21 [曙橋] ヒバリヅク(1) 大久保陸夫

08.22 [布佐平和台] ヒ(1) 駅上空を北  
東から南西に飛ぶ 鈴木静治

08.24 [光ヶ丘広池学園] サコウチヨウ(3)  
8:46、夕方に飛来し空中で虫を捕獲してい  
た 飯泉仁

08.28 [下沼田] ヲウヅク(1) 電柱の上  
部の梁に止まる 鈴木静治

09.01 [東中新宿] ツ(1) 9:20、鳴きなが  
ら移動 飯泉久美子

09.03 [大井] サバ(1) 13:18、林上空を旋  
回していた 飯泉仁・久美子

09.03 [布佐] ヒ(1) 13:35、栄橋上空を  
旋回していた 飯泉仁・久美子

09.04 [江蔵地] コトドリ(3) 河原草地の水  
溜りで採餌 鈴木静治

09.07 [片山] ツトドリ(1) 14:32、桜の木々  
の間を移動し、枝に止まったりを繰り返して  
いた 飯泉仁・久美子

09.10 [天王台3] カウ(1) 上空を飛翔  
首藤佑吉

09.11 [東中新宿4丁目] サバ(1) 11:15、  
光ヶ丘消防署周辺の上空を鳴きながら旋  
回していた 飯泉久美子

09.13 [大井新田先手賀沼] コトドリ(4)  
15:36~ 15:50、大津川河口の干潟で餌を  
物色 飯泉仁・久美子

09.13 [大井新田先手賀沼] セイカヅク(3)  
15:36~ 15:50、沼と芦原の境界で休息  
飯泉仁・久美子

09.13 [片山] マガラ(2) 15:04、林の中を  
鳴きながら移動 飯泉仁・久美子

09.13 [北新田] イヅギ(1) 10:55、気温  
30、3号排水路 飯泉仁・久美子

09.13 [北新田] サバ(2) 11:02、3号排水

路上空を旋回 飯泉仁・久美子

09.13 [北新田] ヒ(1) 11:02、3号排水  
路上空を旋回 飯泉仁・久美子

09.13 [染井入新田先手賀沼] コガモ(1)  
14:04、気温30、干潟状の場所で休息  
飯泉仁・久美子

09.13 [染井入新田先手賀沼] マガモ(2)  
14:04、気温30、干潟状の場所で休息  
飯泉仁・久美子

09.13 [染井入新田先手賀沼] セイカヅク(5)  
14:04、気温30、沼と芦原の境界の泥状  
の場所で餌を物色 飯泉仁・久美子

09.13 [布施あけぼの山公園] サバ(3)  
13:21、布施弁天上空を旋回し西方向に移  
動 飯泉仁・久美子

09.13 [布施あけぼの山公園] トビ(1)  
13:24、布施弁天上空を旋回し、西方向に  
移動 飯泉仁・久美子

09.14 [高野山新田] イヅク(4) 湖の人工  
干潟を歩く 鈴木静治

09.14 [高野山新田] セイカヅク(2) 湖の人  
工干潟で採餌 鈴木静治

09.14 [我孫子新田] サバ(1) 漁業組合前  
染谷迪夫・木村稔・北原建郎

09.14 [手賀沼] イヅク(1) 上沼  
染谷迪夫・木村稔・北原建郎

09.19 [千間橋] ヲウヅク(1) 田の上を  
飛ぶ 鈴木静治

## 寄せられた種の数 58種

## 今回の投稿者の総投稿件数

飯泉久美子	7
飯泉仁	240
飯泉仁・久美子	105
大久保陸夫	2
首藤佑吉	1
鈴木静治	21
染谷迪夫・木村稔・北原建郎	25
染谷迪夫・木村稔・田中功	22
中西榮子	7
中野久夫	5
<b>総計</b>	<b>435</b>

(諏訪哲夫)

## 会 員 便 り ( ab-birdnet, ab-news より )

### 【北新田】

- 遅れていた北新田の稲刈りもほぼ終わり、あと数枚残すだけになりました。
- ・ミサゴは利根川河川敷上を下流方向に飛んで行きました。
  - ・9月4日は40羽、5日には30羽のムナグロが稲刈り後の耕田にきていました。
  - ・7日にはケリが2羽、稲刈り田にきていました。
  - ・13日以降セッカの囀りは聞かれなくなり、地鳴きだけになりました。
  - ・15日にコガモが1羽、2号排水路にきていました。(中野久夫 09/17)
- 
- ・コガモは2号排水路に群れていました。
  - ・ノスリは利根川河川敷の柳上、ハヤブサは2号排水路近くの電柱上にいました。
  - ・最近あちこちの稲刈り田からタシギの飛び立ちが目立つようになりました。
  - ・ノビタキは2号排水路沿いの草地にいました。(中野久夫 10/03)
- 
- ・今朝北新田にタゲリが4羽きていました。タゲリは毎年北新田で最初に飛来する北新田橋北西の田んぼにきていました。
  - ・ノビタキは3号排水路沿いの土手にいました。利根川堤防付近は草が刈られたため見られなくなりました。(中野久夫 10/16)

### 【エナガ】

我が家の前の公園の木立に、朝の8時ころになるとエナガが連れ立ってやってくるようになりました。その数十羽あまり、可憐な声で鳴き交わしながら、松の小枝の間でなにやらつついたり、電線に飛び移ってずらりと並んで、永い尾羽を左右に動かしたりと、しばらく楽しませてくれてサッと飛び去ります。(赤尾完 09/15)

### 【手賀沼】

下沼一週ウォーキングでの鳥便りです。

先週の定例会と同じ市民農園隣接の遊歩道でセイタカシギ他が、漁協前ではオナガガモのエクリプス5羽が初見でした。染入落して飯泉ご夫妻と出会い、手賀沼でのカモの交雑の可能性について教えてもらいました。この冬には普通に見れるカモでもじっくりと観察したいと思います。この染入落しでは、セイタカシギ、トウネン、コチドリ、コガモ等々、遠くの杭上にはアジサシ類が1羽が観察されました。秋の日差しの中、気持ちの良いウォーキングでした。(桑森亮 09/12)

手賀沼ウォーキングの際の鳥だよりです。

セイタカシギはまだいました。ツツドリが親水公園付近遊歩道の樹で毛虫を食べていました。漁協前のオナガガモが増えており、あちこちでモズを見かけました。(桑森亮 09/27)

手賀下沼の鳥便りです。ハジロカイツブリ、カンムリカイツブリが来ていました。沼の中央にはカモが数十羽いましたが種別は分かりませんでした。漁協前のオナガガモは冬羽に変わってきています。セグロカモメがいたり、週毎に冬鳥が増えてきています。セイタカシギは湖北集水路口で2羽いましたが、その後、市民農場近くでも2羽いました。同じ個体の可能性があり、鳥便りには前者のみとしています。手賀沼の上空にタカらしき鳥(種は不明)が4羽はばたきながら高度上げ南の方へ飛んでいきました。サシバが渡っていったのかも知れません。(桑森亮 10/05)

### 【カケス】

- ・昨日(10/2)、山階鳥研の裏山でカケスが鳴いてました。秋ですね。(平岡考 10/03)
- ・私も、2日の朝、電中研の斜面林でカケスの鳴き声を聞きました。(中野久夫 10/04)
- ・私も、3日、あけぼの山公園の上空を飛ぶカケスを見ました。なお、1日には、鳴き声を聞いております。(中西榮子 10/04)

### 【ホオジロカンムリヅル】

先日NHKで放送された白井市にいたホオジロカンムリヅルは、今日は北新田に来ていました。コウノトリがよくいたトム造園横の落し堀(越流堤西端近くの2号排水路に架かる橋の南側にある落し堀)の土手の上から、稲の穂をついばんでいました。(中野久夫 09/02)

ホオジロカンムリヅルは北新田で9月2日から8日まで滞在していた後、11日と13日の朝もいましたが、その後は見られなくなりました。まわりで稲刈りが始まったため移動したのでしょうか。(中野久夫 09/17)

昼休みにホオジロカンムリヅルを探しに行ってみました。大津川のひどり橋よりやや上流右岸の水田で、おちた稲穂をさかんにしごいて朶を食べていました。15分ほどじっくり観察・撮影して、ひどり橋のほうに歩いて戻っていたら、頭上を飛び越して、大津川河口の中洲に戻ってゆきました。散歩のおじさんと話をしましたが、橋の欄干や電柱のてっぺんにとまるようすも見られるようですね。一般にヅルは木にとまらないわけですが、カンムリヅル類はこういったところに止まるのですね。足の構造違うんでしょうか。(平岡考 10/09)

ホオジロカンムリヅルは、今夕も大津川そばの水田から河口の中洲に飛んで来ました。その後17時頃に手賀沼を渡って、我孫子農産物直売所前の工所用棧橋鉄柱に止まりました。塹にしているようですね。(松田幸保 10/11)

昼休みに標本と文献を見てみました。

カンムリヅル亜科(カンムリヅルとホオジロカンムリヅル)

後趾は長く、掴むことができる

ヅル亜科(カンムリヅル亜科以外のすべてのヅル類)

後趾は通常、痕跡的で短い

とありました(E.K.Urban, et al. eds. 1986. The Birds of Africa. Vol.2. Academic Press)。タンチョウの本剥製を見たところ、後趾は前向ききの3本の指の分かれ目よりもちょっと上についていて、後趾の先端がやっと地面に届くような感じで、これでは枝は掴めないだろうという感じです。カンムリヅル類は山階鳥研には本剥製がなく、研究用の「仮剥製」では4本の趾(あしゆび)がすばめてあるので後趾の付いている位置がわかりづらいです。体の大小の比率を考慮すると、タンチョウとバランス上は同じ程度の長さに見えます。ヅル亜科(タンチョウ)で痕跡的で、カンムリヅル亜科で長いというのは2点の標本からはちょっとわかりづらいです。あと問題は後趾の生えている位置ですね。これは、手賀沼の実物のホオジロカンムリヅルを見てみるのが早いかもしれません。鳥博にはカンムリヅル類の本剥製がありますかね。(平岡考 10/14)

## 手賀沼ふれあい清掃に参加しましょう

期 日 12月7日(日) 午前9時から11時30分まで 荒天の場合12月14日(日)  
集合場所 手賀沼公園多目的広場 8時45分集合  
清掃開始 9時から「ふれあいコース」(手賀沼公園沿岸～親水広場)

## 手賀沼流域フォーラムが開催されました

手賀沼流域フォーラム2008 柏地域イベントの「手賀沼交流会」がUDCK(柏の葉アーバンデザインセンター)で9月13日(土)開催され、11団体が参加した。当会はポスター展示(手賀沼ビオトープの鳥たち)とポスターセッション等に参加し、当会の活動や手賀沼ビオトープの調査データから得られた内容の紹介を行った。また各団体と意見交換を行い相互の活動内容の理解を深めることが出来た。(間野吉幸)

## 9月幹事会報告

日 時 9月14日(日) 13:30～16:30

場 所 水の館 3F 研修室

### 1. JBFの行事と担当の確認について

各行事の担当を確認。

### 2. 会報205号の記載記事について

記載記事は原案通り了承され、担当者も決定。

### 3. 報告事項(含 検討)

JBF実行委員会経過報告

当会ホームページは予定通り、9月3日に公開。9月3日現在122人のアクセス

「手賀沼助成基金」を美しい手賀沼を愛する市民の連合会に申請。

手賀沼流域フォーラム(10月18日)にパネル展示で参加。

赤尾顧問より顧問退任の申し出を受理。

市民活動フェア(H21年2月28日～3月1日)にパネル展示は参加予定。

GR(グラン・レジデンス)野鳥を守る会の文化祭へ協力する。(紙芝居関係)

湖辺植生維持管理手法確立調査の協力要請について、具体的な内容を確認し負担のわからない程度に協力。

第12回健康と福祉のつどい「講演依頼について我孫子の鳥と自然について」の題で講演協力。

## ほーほーどり No.205 (2008年11～12月号)

発 行 2008年11月1日

発行人 間野吉幸

編集人 猪爪敏夫、小玉文夫、佐々木隆、野口紀子、松本勝英、宮下三禮

事務局 染谷迪夫 〒270 1154 我孫子市白山 1-9-4 Tel 04 7182 3972

郵便振替 00140-2-647587 我孫子野鳥を守る会

会 費 年会費2,000円(大学生・高校生1,000円、中学生以下500円、家族会員無料)